

令和7年度 PPP/PFI セミナー・官民対話

和歌山県官民連携プラットフォームでは、県内におけるPPP/PFI等官民連携事業を推進するため、毎年、県内の自治体や民間事業者を対象としてセミナー等を開催しています。

今回は、PPP/PFIに関するセミナーと、県内3カ所にある県立青少年の家を対象とした「官民対話（サウンディング）」を開催します。

セミナー及び官民対話（サウンディング）への参加・傍聴を希望する民間事業者や県内自治体職員を募集しますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

参加費
無料

事前
申込制
(定員50名)

※先着順

開催日時

令和7年 **8月1日** (金)
13:30～15:30 (開場13:00)

会場

和歌山県自治会館
2階 203会議室
(和歌山市茶屋ノ丁2-1)

プログラム

13:30 開会

13:30～14:20 第1部 セミナー

テーマ: 「拡大するPPP/PFI事業の現状と先進事例」

講師: 高木信吉 氏 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)

14:30～15:20 第2部 官民対話（サウンディング）

案件: 青少年施設管理運営・整備事業

(事業担当課: 和歌山県こども未来課)

15:30 閉会



■ セミナー講師
高木信吉 氏

- ・建設コンサルタンツ協会
PFI専門委員会委員長
- ・内閣府PPP/PFI専門家
派遣講師
- ・国土交通省PPPサポーター

参加申込方法

セミナー及び官民対話への参加・傍聴ともに下記URL又は二次元コードからお申込みください。

■参加対象: PPP/PFI事業に関心がある民間事業者、地方公共団体職員等

<https://prefwakayama.form.kintoneapp.com/public/tipuro>

申込締切: 令和7年7月24日 (木) 17:00



《お問合せ先》

和歌山県官民連携プラットフォーム事務局 (和歌山県企画課地域プロジェクト対策室)

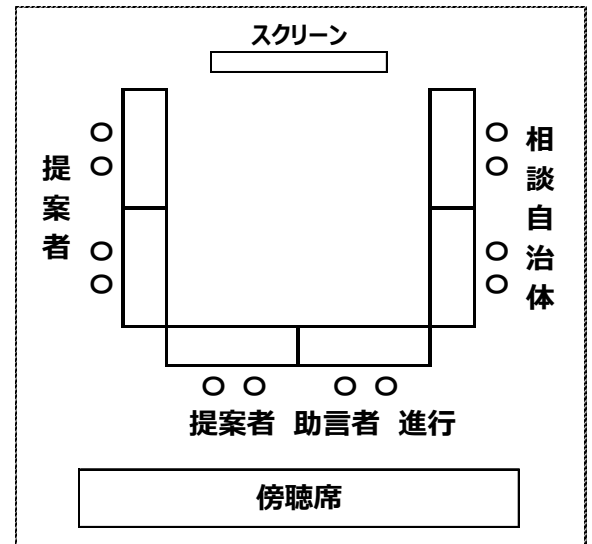
担当: 岡田、尾花 TEL:073-441-2336 E-mail:e0201002@pref.wakayama.lg.jp

官民対話（サウンディング）の実施イメージ

官民対話（サウンディング）とは、地方公共団体が民間事業者との意見交換等を通じ、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査です。市場性の有無や実現可能性の把握など、行政だけでは気づきにくい課題の把握といった効果が期待できます。

■官民対話（サウンディング）の進め方

- ①参加者は、「相談自治体」、「提案者・助言者（民間事業者等）」、「傍聴者」となります。
- ②最初に相談自治体から事業概要の説明を行います。
- ③提案者・助言者から自由にアイデア出し等を行います。



案件紹介

案件名：青少年施設管理運営・整備事業

●自治体名（所属名）

和歌山県（こども未来課）

●事業の概要

県内に3カ所ある「県立青少年の家」について、施設の老朽化に伴う維持管理コストの増加や、少子化による利用者減少が課題となっている。
将来、設備更新や大規模修繕が必要となるため、官民で連携した施設の整備や管理運営も含め、今後のあり方を検討中。

〔施設概要〕

- ①県立紀北青少年の家（S49年設置）
敷地面積：87,273㎡ 延床面積：4,064㎡
- ②県立白崎青少年の家（S51年設置）
敷地面積：235,581㎡ 延床面積：3,746㎡
- ③県立潮岬青少年の家（S40年設置、S56年建替）
敷地面積：47,646㎡ 延床面積：3,258㎡



県立紀北青少年の家
（かつらぎ町）



県立白崎青少年の家
（由良町）



県立潮岬青少年の家
（串本町）

●民間事業者に関きたいこと

- ・利用者増加に向けたアイデア
- ・青少年教育施設以外に民間の収益施設を設置することについての事業性の有無
- ・利用料金（使用料金）についての意見
- ・PFI事業として実施した場合の参加の可能性
- ・どのような要件であれば民間参入し易いか など